

月刊 まち・コミ 2012年3・4月号

● インフォメーション ● <http://park15.wakwak.com/~m-comi/>



● 今月の注目記事 ● P 1 ~ P 4 昨年度の活動報告と今年度の予定

昨年度の活動報告と今年度の予定

みなさまには日頃大変お世話になり、ありがとうございます。簡単ではありますが、昨年度の活動を報告し、今年度の予定をお知らせいたします。今後とも応援よろしくおねがいたします。



2011年5月4日、宮城県亘理町にて墓地の瓦礫撤去作業をしました。

これまでの活動を振り返って

1996年のまち・コミュニケーション（以下まち・コミ）設立から16年。阪神・淡路大震災の現場やその後、縁のある地域の人々と共にまちづくりに取り組んでまいりました。

まち・コミの活動は、応援団共々現場にかけつけ、寄り添いながら、地域で社会生活を営む人と共に、自分たちの力で地域の未来のために取り組めるよう、自分自身の周囲の環境やまちを知り、実際に行動できる環境をつくることを模索してきました。

2012年度はこれまでの経験を活かしながら、東日本の復興まちづくりにも関わります。

これまでの活動、これからの活動の詳細については、団体ホームページ「WEBまち・コミ」でご紹介していますのでご参照ください。

- 11 / 26 【講演】 東京都足立区 復興訓練 「阪神・淡路大震災の体験から伝えられること」(田中)
- 11 / 23 【出石市民農園】 たまねぎ植え
- 11 / 19 【講演】 大阪府岸和田市東光地区 「阪神・淡路大震災から学ぶ」(田中)
- 11 / 17 【講演】 大阪府岸和田市城内地区 「阪神・淡路大震災から学ぶ」(田中)
- 11 / 10 【研修受入】 米原市民生委員児童委員協議会
- 11 / 8 【講演】 群馬県立利根実業高等学校 「阪神・淡路大震災から学んだこと」そして東日本へボランティア(田中)
- 11 / 2 / 6 【東北震災支援】 宮城県亘理町へ
- 10 / 31 【研修受入】 台湾の高校生20人(財団法人交流協会)
- 10 / 22 / 23 【出石市民農園】 黒豆の枝豆収穫
- 10 / 22 【講演】 各務原市防災ひとづくり講座(田中)
- 10 / 10 【震災体験学習】 語り部研修会(人と防災未来センターへ)
- 9 / 13 【震災体験学習】 2011年度後半受入開始 (3月末までで7校受入)
- 9 / 13 【講演】 豊中アイボリー・フォーラム 主催・豊中駅前まちづくり会社「二つの想いを実現するまちの人々に魅せられて」よそ者として震災復興まちづくりに10年関わって学んだこと(宮定)
- 9 / 9 【東北震災支援】 志津川高避難所リーダー来訪語り部と交流
- 9 / 6 【研修受入】 台湾の大学生18人(財団法人交流協会)
- 9 / 5 【研修受入】 神奈川大学法学部東郷ゼミ
- 9 / 2 / 4 【東北震災支援】 宮城県亘理町へ
- 8 / 23 【研修受入】 千葉商科大学毒島ゼミ
- 8 / 7 / 9 【東日本大震災】 仙台市荒浜地区へ
- 8 / 5 / 7 【東日本大震災】 亘理町・南三陸町へ
- 7 / 22 【震災体験学習】 JTB首都圏営業担当者
- 7 / 17 / 25 【東日本大震災】 被災地視察ツアー参加
- 7 / 15 【出石市民農園】 黒豆早生の収穫
- 7 / 9 【視察】 建築士会一行来訪
- 7 / 9 【出石市民農園】 じゃがいも収穫
- 6 / 27 【講演】 神戸松蔭女子学院大学(宮定)
- 6 / 13 / 15 【出石市民農園】 たまねぎ収穫
- 6 / 7 / 6 / 9 【東北復興支援】 亘理町へ
- 5 / 11 【講演】 FUKUOKA(神戸大学)シンポジウム 「今、神戸にできること」(田中)
- 5 / 10 【震災体験学習】 2011年度前半受入開始 (6月末までで18校受入)
- 5 / 2 / 6 【東北復興支援】 東日本大震災瓦礫撤去等の支援
- 4 / 30 【震災体験学習】 観音寺お参り
- 4 / 20 長田区住民まちづくり会議出席(以後9回出席)
- 4 / 11 【講演】 Masarusラジオ 「防災まちづくり」(田中)
- 【2011年度 活動報告】



▲ 2011年5月6日
宮城県亘理町での復旧作業の様子



▲ 2011年8月6日
宮城県亘理町のNPO法人いちごっこを訪問

<東日本大震災復興支援> 4月~6月

2011年3月11日東日本大震災発生。御蔵の住民やまち・コミ応援団からまち・コミへ、被災地を応援したいという連絡を100件弱いただきました。まち・コミはまず、東北の関係者の状況を確認。2011年3月20日に、御蔵のまちづくりでもお世話になった方々の居る宮城県南部に向かいました。4月と5月に復旧支援をしたい人を集め、大きな被害を受けた宮城県亘理町浜吉田地区の海蔵禅寺に行き、建物が残った本堂、境内、墓地の瓦礫撤去等清掃活動を行いました。6月には檀家さんの力により、すべての墓が元の位置に戻されました。当初は本堂に仮に遺骨を並べることを目標に檀家さんたちと活動しましたが、8月のお盆前には納骨も可能になりました。

<東日本大震災復興支援> 7月以降

宮城県亘理町の後、宮城県山元町、仙台市若林区にて、復興まちづくりの準備のための活動に関わりました。今まで17年間で知り合った応援団が様々な形で支援してくださいました。現地に行ったのは、御蔵住民、勉強に来ていた大学生、神戸市民、ネットワークのある専門家、遠くはアメリカのシアトルからも参加がありました。長田の飲食店の機材やバイクの運搬、広報誌のアドバイス、シアトルからコーヒーの提供、現地NPOの倉庫建設支援等を行いました。その後、石巻市雄勝町の住民が神戸まで支援を求めてこられ、お話を聞きながらどのように関わられるか調査を行いました。住民はもとより、多くの関係者に被災地の現状を知ってもらえるよう、現地での活動を模索中です。

- 12 / 2 ～ 5 【東北震災支援】宮城県山元町へ
- 12 / 3 ～ 5 【台日交流】麒麟の会講座開催・陳舜臣的神戸愛
元町かいわいを歩き語る1
元町かいわいを歩き語る2
- 12 / 10 【台日交流】麒麟の会講座開催・陳舜臣的神戸愛
- 12 / 29 【東北震災支援】南三陸勉強会参加
- 1 / 7 ～ 9 【東北震災支援】東北行き
- 1 / 14 【視察】石巻、気仙沼より来訪
- 1 / 15 こうべあいウオーク（炊き出し協力）
- 1 / 17 慰霊法要
- 1 / 19 KBS京都ラジオ出演（田中）
- 1 / 27 ～ 30 【研修・台日交流】王明傑氏（台湾）来日
- 1 / 28 【台日交流】麒麟の会講座開催・街角から見た元町・海岸通の都市形成史、小説「黒い米」をひもときつつ
- 1 / 29 【講演】東京都足立区復興訓練ら
「阪神・淡路大震災の体験が伝えられること」（田中）
- 2 / 12 【講演】宮崎県 防災士養成研修（専門コース）
「阪神・淡路大震災から学んだこと」（田中）
- 2 / 13 ～ 16 関西大学上町台地調査実習に同行
- 2 / 15 【研修受入】京都大学防災研究所
「ポランティアから見る生活再建と復興の課題」（田中）
- 2 / 16 関西大学調査実習講義に参加
- 2 / 19 【講演】神戸大学ポランティア講座
「ポランティアから見る生活再建と復興の課題」（田中）
- 2 / 23 【研修受入】JICA中東アジアのマスコミ関係者
「災害復興の経験を踏まえて」（田中）
- 2 / 23 【研修受入】東北被災地交流ツアー勉強会
- 2 / 23 【研修受入】東北被災地交流ツアー勉強会
- 3 / 8 【東北復興支援】気仙沼観光協会視察来訪
- 3 / 9 【研修受入】神戸大学ポランティア講座
- 3 / 10 【講演】大分県東成区講演会「東日本大震災から1年
地域防災まちづくりの大切さ、今から備えること
災害復興の経験を踏まえて」（田中）
- 3 / 13 【東北復興支援】東北行き
- 3 / 15 【震災学習】東北被災地交流ツアー勉強会
- 3 / 20 【震災学習】観音寺お参り
- 3 / 25 【台日交流】麒麟の会講座開催・戦災復興過程の神戸を歩く
駅前ヤミ市とその行方
- 3 / 27 ～ 30 【台日交流】訪台「淡水木造和式建築の建て替え」シンポ
- 3 / 27 【東北復興支援】台湾淡江大学学生、夏季休暇東北訪問に
むけての事前打合せ

月刊まち・コミ発行（4号）
出石町市民農園再建事業（現地活動日数30日）
東北復興支援事業（現地活動日数53日）
WEBまち・コミブログ更新（228回）
講演（12回）・視察研修受け入れ（13回）



▲ 2011年12月10日
「麒麟の会」連続講座を開催

＜台日交流＞麒麟の会 12月～3月

日本の古民家を台湾へ移築し一滴水記念館として建設しました。中には、水上勉文庫・陳舜臣文庫があります。陳舜臣先生とご家族が一滴水記念館を訪問（2010年11月）して下さった後、ご子息から「父が収集した書籍や資料を通じて、アジアの若者が学ぶ場が神戸にできれば」と提案がありました。「麒麟の会」と陳舜臣先生に命名していただき、検討を重ね、まずは集まったメンバーでできることから、2011年12月に2回、2012年1月に1回、3月に1回、神戸元町高架下のプラネットEarthにて、元町高架下（モトコー）にぎわいづくり実行委員会と麒麟の会の主催で、講座を行いました。



▲ 2012年1月14日
宮城県石巻市、気仙沼市より視察

＜視察研修受入＞＜震災体験学習＞2011年度

東日本大震災の後、視察研修や震災体験学習のお問い合わせやお申し込みが増えています。阪神・淡路大震災の経験、そしてまちづくり協議会やまち・コミュニケーションの取り組みを伝えることの大切さを再認識しました。修学旅行生は、災害への備えは何が必要か、東北の被災地のために自分に何ができるのかを真剣に考えている様子でした。

また、9月以降は東日本大震災の被災地から、避難所運営や地域の復興、観光事業に取り組む方、新聞記者の来訪が増え、神戸の経験を伝えると共に、東日本の被災地の生の声を神戸で聞くこともできました。まち・コミの震災体験学習で語り部として活躍している方々との交流する機会にもなりました。

2012年度活動予定

1. 被災地まちづくり支援事業

1 - 1. 神戸市長田区御蔵通

まち・コミ記録誌作成と共に、振り返りの場を作っていきます。

1 - 2. 兵庫県豊岡市出石町鳥居

鳥居やすらぎ市民農園で畑を耕しながら、多くの方に感じていただき、出石市民農園の活性はもとより、都市と農村の交流に力を入れていきます。

1 - 3. 台湾

一滴水記念館（古民家）が2011年3月に開館しました。記念館を通じた日台交流が活性化するように、展示の充実や神戸とアジアの歴史研究などに努めていきます。

1 - 4. 東日本大震災の被災地

石巻市雄勝町にて、地元の方が復興まちづくりに安心して取り組めるよう地域の調査を行い、皆様関係者と共に、地域づくりに関わっていききたいと思っています。

2. 平常時まちづくり支援事業

2012年度の該当地区はありません。（いつでも平常時のまちづくりに貢献できるよう準備します）

3. 地域間交流

活動の中で出合った他地域の人たちと、積極的に交流していきます。今年度は特に、一滴水記念館のオープンをきっかけにますます交流が広がるよう、台湾からの来訪者受け入れなどを予定しています。

4. まちづくり調査研究事業

4 - 1. 各地区の再建調査

被災地が再建する過程を調査します。

4 - 2. まち・コミ記録誌の作成

まち・コミの今後の活動に生かすため、これまでを振り返り、冊子にまとめます。

5. まちづくり研修事業

5 - 1. 修学旅行生の受け入れ

神戸に修学旅行に来る小・中・高校生を対象に、震災体験を伝えています。今年度は15校程度予定しています。

5 - 2. 御蔵学校（地域で学ぶ勉強会）

「東日本大震災」がテーマの勉強会を、秋以降に開催する予定です。

5 - 3. 各種団体受け入れ

震災、復興まちづくり、ボランティアなどをテーマに研修をいたします。

5 - 4. 外部講演

講演会やシンポジウムにて、講師やパネリストとして出演し、これまでの経験を元にお話しします。

6. 情報発信事業

6 - 1. 月刊まち・コミ

まち・コミの活動や調査の報告、その他まちづくりの情報をお伝えします。

6 - 2. Web まち・コミ

活動報告を中心にホームページやブログなどにて情報発信します。

6 - 3. メールニュース

2カ月に1回程度、Eメールにて情報をお届けします。

各活動のボランティア、事務局のインターンを募集しています。まち・コミュニケーションまでお気軽にお問い合わせください。

各活動についてのPR ホームページがあります。「WEBまち・コミ」からリンクされています。是非併せてご覧下さい。

まち・コミ news



2011年度 収支報告 (2011年4月～2012年3月)

収入		支出	
(前年度繰越金)	¥1,124,578		
会費	¥642,880	事業費	¥1,171,101
寄付金	¥840,290	人件費	¥4,200,000
助成金	¥0	通信費	¥164,628
事業収入	¥5,395,693	交通費	¥1,117,530
雑収入	¥7,875	事務管理費	¥73,476
		家賃・水光熱費	¥434,091
		雑費	¥6,620
		(翌年度へ繰越)	¥843,870
合計	¥8,011,316		¥8,011,316

昨年度も応援してくださるみなさまのおかげで、活動することができました。
 ありがとうございました。今年度もよろしく願いいたします。

まち・コミュニケーション

大地のつぶやき

〜 東日本大震災を想う (VI) 〜

何度も東日本に通って相変わらずのがれきの山が目に残る。今では殆ど選別されている。木質材、粉碎されたコンクリートや土砂、そして鉄屑や自動車の山、焼却灰の処分地を大阪湾臨海環境センター(通称フェニックス)に持つ兵庫県や神戸市もがれき受け入れに消極的なのは悲しい。阪神・淡路大震災では多くの人々に助けられて今日がある。あれから十七年余り、助けられた人の心は変わったのだろうか。或いは体験者が激減したのか。彼の地の人々は肉親を失い、友人知人を失い、住居を失い、職場すら失った。福島県の一部では生まれ育った故郷に戻れないどころか見にも行けない。「絆」や「寄り添い」の言葉が飛び交っているのになぜ相手の身になって考えることが出来ないのだろうか。残念だ。須田女川町長は「私たちはがれきの中で毎日暮らしている。がれきが復旧作業の足枷になっている」と訴えている。

綱引き状態がいつまでも続くならこころ一番、被災地地元もこの際思い切ってこの膨大ながれきの再利用を積極的に考えてはどうだろう。もう既にコンクリートの粉碎処理したものを道路路盤材や土木資材に使っている所もある。さらに横浜国大宮脇昭名誉教授が提案する「緑の防波堤」づくりこそ、その価値が後世に残り語り継がれ防災教育にも生かせるものだと思う。広域処理によって発生する莫大な輸送費をもっと効果的に地元に使えるではないか。宮脇さんはがれきから有害物質を取り除き、木質系とコンクリートを土と混ぜ合わせ海岸沿いに積み上げ土を盛って覆い、その上に土地本来の常緑広葉樹を植える。木片は十年で土に返り樹木の養分になる。常緑広葉樹は根が深く、埋めたがれきの隙間に絡み丈夫な森が出来、根の浅い松と違い波砕効果もあり津波の威力が軽減される。また引き波によって人や家屋が海に流されるのを防ぐと言っておられる。地元からも大声をあげよう。

関東大震災の山下公園、安政の南海地震の広村堤防の例あり。

株式会社兵庫商会 田中保三

まち・コミ活動報告

12/1 ~ 2/29

12/2-5【東北復興支援】宮城県山元町へ
 12/3-10【台日交流】麒麟の会講座開催
 12/15【震災体験学習】専修大学松戸高等学校
 12/24NPOふたばの震災学習を見学
 12/29【東北復興支援】南三陸勉強会参加
 1/7 ~ 9【東北復興支援】宮城県へ
 1/14【東北復興支援】石巻、気仙沼より視察
 1/17 慰霊法要

1/19 KBS 京都ラジオ出演(田中)
 1/25 長田区いきいき部会出席
 1/26【震災学習】加古川市立中部中
 1/27-30【台日交流】王明傑さん研修
 1/28【台日交流】麒麟の会講座開催
 1/29【講演】東京都足立区にて(田中)
 2/11 阪神大震災を記録しつづける会の集い出席
 2/12【講演】宮崎県にて(田中)

2/12 区民まちづくり会議 震災学習講座開催
 2/13-14 関西大学上町台地調査実習同行
 2/15【研修受入】京都大学防災研究所
 2/16 関西大学調査実習講義参加
 2/19【講演】神戸大学ボランティア講座(田中)
 2/21【東北復興支援】宮城県雄勝町より阿部晃成さん来訪
 2/23【研修受入】JICA 中東アジアマスコミ関係者来訪

ご支援、ありがとうございます。

11/1 ~ 12/31

賛助会員(新規・継続)

株式会社防災 & 情報研究所(東京都) 高宮城幸雄(兵庫県) スタジオ・カタリスト(兵庫県)
 熊坂ひろ子(東京都) 近藤悦生(兵庫県) 平山京子(兵庫県) 橋本光穂(兵庫県) 大陽商会(兵庫県)
 西堀喜久夫(愛知県) 浜崎利澄(兵庫県) 秋原孝三(兵庫県) 佐藤美姿(埼玉県)
 寄付 田中貢(大阪府) 六ノ坪合資会社(兵庫県) 菅磨志保(大阪府)
 協力 社団法人シャンティ国際ボランティア会(東京都) 株式会社兵庫商会(兵庫県) 【順不同・敬称略】

新規賛助会員募集&更新のお願い

まち・コミでは、さらに活発に活動を行うため、賛助会員を募集し、金銭面でのご支援をいただいております。会費は、事業推進のために活用させていただきます。賛助会員のみなさまには、会員特典をご用意しておりますので、ぜひ賛助会員への登録をお願いいたします。

また、賛助会員は1年更新とさせていただきます。現在賛助会員の方も時期がきましたら、更新をお願いいたします。(期限は、「月刊まち・コミ」郵送時の封筒の、宛名の下に記載していますので、ご確認ください。)

会員特典

本誌「月刊まち・コミ」の送付。

まち・コミュニケーションに関する、Eメールでの情報送付、WEBの特別ページの参照

よろしくおねがいいたします。

編集後記「麒麟の会」の講座に参加すると、神戸をあらゆる面から見ることができ、改めておもしろい町だなと思います。次の講座が楽しみ!(戸)

年会費

個人・法人 年間5000円
 学生 年間3000円

郵便振替口座番号

00950-3-42788

口座名称

「まち・コミュニケーション事務局」

2012年5月1日発行
 編集/発行 まち・コミュニケーション
 定価 100円

御蔵事務所 〒653-0014
 神戸市長田区御蔵通5-5
 TEL 078-578-1100 / FAX 078-576-7961

東京事務所 〒162-0052
 東京都新宿区戸山1-24-1
 早稲田大学文学部浦野研究室内

神奈川事務所 〒214-8580
 神奈川県川崎市多摩区東三田2丁目1-1
 専修大学文学部大矢根研究室内

e-mail m-comi@bj.wakwak.com
 URL http://park15.wakwak.com/~m-comi/